

第 1 回足立区住宅政策審議会企画部会 検討結果  
(平成 28 年 6 月 21 日 区役所中央館 4 階 401 会議室)

[地域別の総括について]

論点	
・ 足立区のこれまで・これからの主要プロジェクトや民間開発、現在の公営住宅等の立地状況等について、区内を 17 の生活圏に区分して地域別に整理した。	
主な意見	
項番	内容
《公共住宅関係》	
1	・ 都営住宅の偏在という問題に関して、公営住宅の団地ごとの建築年、住民構成、空き家募集倍率などのカルテはあるか。東京都にデータを要望するなりして、公営住宅の高齢化に係るコミュニティの維持、引きこもり防止などの観点から、少し掘り下げて議論したい。
《マンション関係》	
2	・ マンションは、情報公開をしっかりとしないと中古住宅がなかなか流通しない。そういう部分は行政がリードできる。
3	・ 豊島区では、条例でマンション管理に必要な事項を定めている。足立区でもそういう仕組みを入れると、情報を公開して流通に乗せられる。
4	・ マンション内のコミュニティ活動から地域活動に発展していくなど、行政が手助けできる可能性はあるか。
5	・ マンション標準管理規約の改正に伴い、マンション管理組合がコミュニティ活動に対して萎縮してしまっている。足立区からも情報を出してもらえるといい。
《エリアデザイン関係》	
6	・ 地域の魅力想像をマネジメントする人材をどうするか。補助金などに頼らず自ら稼いで運営費に回していけるまちづくりが大事になる。

[地域別カルテと重点プロジェクトについて]

論点	
・ 地域別の現況整理（地域別カルテ）の作業経過を報告し、地域別の検討方針について議論した。	
主な意見	
項番	内容
7	・ 地域別に人口の流動性の高いところがあるといい。
8	・ マスタープランの中では、地域の人からこれからのことを考えてください、という指針を与える。全てを区が面倒をみるのは、今の時代では難しい。
9	・ 加えて、区として何ができるかという視点も重要になる。マンションの情報公開など、お金をかけなくてもできることはある。

項番	内容
10	・ 検討する地域について、複合的な都市として千住地域、新線が開業した地域として日暮里・舎人ライナー沿線の江北地域か舎人地域、公営住宅の関係で竹の塚地域か花畑地域、大規模開発の関係で西新井・梅田地域か東綾瀬地域の 5 地域程度が候補として考えられる。

[住生活マスタープランの基本的方向性について]

論点	
・ 住生活マスタープランの基本的方向性（第 22 回審議会 資料 13）を基に、計画全体の検討方針について議論した。	
主な意見	
項番	内容
11	・ 前回の資料は尊重するが、足立区ならではの視点で、もう一度足立区の特徴あるものを分析して、これまで何をやってきて、まだどういうところに問題があり、これから何をやるかについて、表などを使って整理する必要がある。
12	・ これまでの悪いイメージを払拭していくような仕掛けを行い、新しいイメージを作って発信していくことも必要。もう一つ、駅に近く、病院もあって、農業にも力を入れているなど、足立区の魅力を宣伝していく。
13	・ 情報発信に関して、例えば子育てと検索したときに、マスタープランの該当部分がヒットするなど、区民に見てもらえるよう工夫をする。